

亀山

かめやま
市議会だより

令和8年
3月定例会号

vol.106

令和8年6月1日

発行 三重県亀山市議会
編集 広聴広報委員会

紙面を
リニューアル
しました!!

P9~P10の
アンケートに
ご協力ください



表紙写真:園庭にある赤いお家の中でのひととき(かめ愛こどもの家)

市の未来をつくる

令和8年度

第3次

亀山市総合計画

総額
363億

総合計画は、亀山市の最上位計画となるもので、長期的な将来展望の下に、市政のあらゆる分野を対象とした総合的かつ計画的なまちづくりの指針です。

新庁舎整備の推進

行政サービスの中核を担う新庁舎の整備に向け、建設地や最適な整備手法、現本庁舎等の施設や跡地の有効活用策について検討を進めるものです。



Q 浸水想定区域である亀山駅周辺が適地と言えるのか。

A 設計段階から専門業者からの技術提案を取り入れながら、防災拠点として求められる安全性の確保にしっかり取り組んでいく。

Q 庁舎基金について収益金のみで、新たな積立てをしない理由は。

A 非常に厳しい財政状況から、財政構造改革の集中改革期間であることを踏まえ、やむを得ず令和8年度は積立てを当初予算にしていない。

便利にしてほしいね!!



地域公共交通の充実

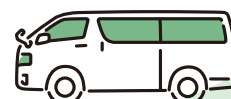
持続可能で、より効率的・効果的な地域公共交通ネットワークへの再構築等を図るものです。

Q 市民の皆さんの意見を具体的にこの計画にどのように反映させているか。

A 市民の皆様の声を多角的に把握し、その意向を計画の理念から具体的な施策に至るまで幅広く反映することで、より実効性の高い計画となるよう取りまとめている。

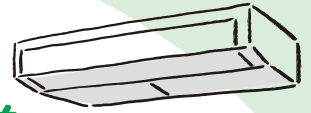
Q 広域連携に対する前向きな視点は含まれているのか。

A 地域住民、交通事業者、行政による三位一体の共創による取組を継続しつつ、公共交通による広域移動の必要性も含めて地域公共交通ネットワークの在り方に対し、全体最適の視点での検討を行っていく。



可決

学校関係



小中学校 空調設備整備事業

令和9年度夏季からの空調設備の使用開始に向け、小中学校の特別教室等への空調設備整備に向けた調査設計・整備工事を進めるものです。

Q 特別教室の空調設置の整備スケジュールについて。

A 令和9年度の夏頃からは使用を開始する予定である。リース期間は、令和9年度から令和19年度までの10年間を想定している。

小学校プール 民間施設活用事業

プール施設に老朽化が見られ、かつ維持管理にかかる財政的な負担が大きい小学校について、民間施設を活用したプール授業を実施するものです。

Q プール民間施設活用事業の対象の学校は。

A 令和8年度は、亀山西小学校、亀山南小学校、昼生小学校、野登小学校、白川小学校、神辺小学校、加太小学校の7校を予定している。令和9年度は、亀山東小学校、令和10年度は関小学校を予定している。

Q プール施設への移動はどのような手段を考えているのか。

A 基本的には関小学校のスクールバスを活用する。徒歩で行ける距離であれば、徒歩と考えている。

室内で
快適!

予算決算委員会からの

意見



1 令和8年度から第3次総合計画がスタートするが、その具現化に向け、委員会の審査過程において出された意見を真摯に受け止め、計画的・効率的な予算の執行に取り組むとともに、事業の着実な推進に努められたい。

2 第3次総合計画に基づく事業の実施に当たっては、大規模施設整備事業を控えていることから、公債費負担比率を注視しつつ、必要に応じて起債を活用するなど、財政健全化と政策推進が両立するよう考慮して取り組まれない。

3 財政構造改革骨太方針2024の集中改革期間の最終年度となることから、歳入確保と歳出削減に努め、限りある財源を有効活用し、市民サービスのさらなる向上が図れるよう取り組まれない。

反対討論

事業の進展が全く見込めないリニア中央新幹線を、今後のまちづくりの柱に据えている基本構想と、それを具体化した前期基本計画には賛成できない。

総合計画の策定に関する議案については反対であり、その具体化の初年度となる当初予算についても賛成できない。

国民健康保険事業特別会計については子ども子育て支援金を上乗せすることによって、市民の負担が上がる仕組みとなる予算である。

賛成討論

総合計画については、市民一人一人が未来に夢と希望を持てる亀山市になることを期待する。

可決

おもな

議案

こども誰でも通園制度

※特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定についてなど

親の就労状況に関わらず、保育所等に通っていない生後6ヶ月から満3歳未満の子どもが、1時間300円で月10時間まで保育施設を利用できる制度です。
市立第一愛護園において、まずは定員5人で開始するものです。

Q 利用できない子どもが出ないのか。

A 令和8年度は8人を想定しているが、希望者の想定は難しい状況である。

Q おやつや給食を提供しないことの方針について伺う。

A 給食の提供はしないが、おやつは未開封のものに限り保護者に持参していただくことを可能とする。また、水分補給に必要なお茶は提供する予定である。



可決

まちをきれいにする条例の一部改正

制定から20年が経過しているが、依然として、まちの美観が損なわれていることから、ごみの投棄に関する対応強化を図り、清潔で美しいまちづくりを推進するため、所要の改正を行うものです。

Q 事業者の声を聞いたのか。

A クリーン作戦にご協力いただいている事業者や市雇用対策協議会に加入されている事業者にご意見を伺った。

Q ごみの対象を一般廃棄物まで広げた理由は何か。

A 近年は家具、家電製品など投棄されるごみも多様化していることから、これらに対応するため、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第2条第2項に規定する一般廃棄物に改め、対象を拡大した。



可決

国民健康保険税条例の一部改正

子ども・子育て政策の給付拡充を図るため、子ども・子育て支援金制度が令和8年度から創設されることに伴い改正するものです。国民健康保険税に子ども・子育て支援金がかかります。

Q 子ども・子育て支援納付金の1世帯当たりの金額がどれくらいになるのか。

A 世帯所得100万円のケースで、1世帯当たり平均で年額約5,500円程度になる。

金額はどうなるの？



可決

工場立地法市準則条例の制定

市内企業の投資促進及び市外流出防止を図る必要があることから、緑地面積率等を緩和するため、条例の制定を行うものです。

Q なぜ今になっての緩和なのか。

A 市内の産業用地が少なくなった今、市内企業のさらなる設備投資の促進及び市外流出を防止するためには、緑地面積率等を緩和する市独自の準則を定めることは有効な手法である。

Q 緑の健都という市の方針と矛盾しないのか。

A 工場が集約されている地域に限って緑地面積率等を緩和するため、市内全域の豊かな自然には影響はないものと考えている。



可決

産業振興条例の一部改正

引き続き新規産業の創出及び既存企業の新規設備投資による産業立地の促進を図る必要があることから、制度を見直し、本条例の有効期間を延長するため、所要の改正を行うものです。

Q 物流機能を有する保管施設事業を削除した理由は何か。

A 物流業は製造業に比べ設備投資額や雇用数が少なく、奨励金の交付額に対しても税収の増加への効果が少ないという課題があった。

Q この改正で企業誘致につながるのか。

A 今後の奨励金対象となる企業は一定規模以上の投資がある製造業になってくると見込んでおり、残り区画も少なくなってきた中、より効果的に奨励制度を活用する必要があると認識している。

産業建設委員会提出議案

学童保育所へ通所する児童らの安全確保及び交通の円滑化のための横断歩道設置に関する意見書

1 関小学校正門西側から関支所方面へ向かう地点に、速やかに横断歩道を設置すること。

2 県道四日市関線と市道関支所鷲山線が交差する地点において、視認性の向上や歩行空間の確保など安全対策を講じること。

議員提案

米国・イスラエルによるイラン攻撃の即時停止と外交による平和解決を求める決議

本市議会は、米国及びイスラエルによるイランへの軍事攻撃と、それに対するイランの報復攻撃に断固抗議します。この武力行使は、国連憲章や国際法を逸脱した暴挙にほかなりません。既に双方に多数の死傷者が出ており、罪のない子どもを含む多くの市民が犠牲になっています。また、攻撃直前まで続いていた外交協議を一方向的に打ち切る形での軍事行動であり、平和的解決の機会を閉ざすものとして、許されることではありません。

イランによる報復攻撃も湾岸諸国に拡大しており、世界の平和と安定を脅かし、エネルギー供給や物価高騰などを通じて日本国民の生活にも重大な影響を及ぼしています。

また、イラン政府による自国民への弾圧は許されないことですが、軍事介入によって他国の政治体制を変更しようとするのは、国家主権と内政不干渉の原則に反するものであり、国際秩序を根底から崩壊させるものです。

今、求められるのは、軍事力ではなく、対話と外交による平和的解決であり、非核平和都市宣言のもと世界の恒久平和を訴え続けてきた本市議会として、これ以上の犠牲は看過できません。

よって、本市議会は、アメリカ政府・イスラエル政府に対し抗議し、直ちに攻撃を中止し、交渉による平和的解決に立ち戻るよう強く要求いたします。

令和8年3月定例会 議員別表決結果一覧表

議案と議決結果の詳細は、ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

こちらのQRコードから簡単にアクセスできます



賛成は○ 反対は● なお、岡本公秀議長は採決に加わっていません。

議席番号 議員名 議案名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	18
		古田吉昭	櫻木善仁	深水隆司	草川卓也	中島雅代	森英之	今岡翔平	高島真	新秀隆	豊田恵理	福沢美由紀	森美和子	鈴木達夫	岡本公秀	伊藤彦太郎	服部孝規	櫻井清蔵
議案第3号 亀山市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	●
議案第4号 亀山市工場立地法市準則条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	-	○	●	●
議案第9号 亀山市立保育所利用者負担額等の徴収に関する条例及び亀山市認定こども園条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	●
議案第10号 亀山市国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	-	○	●	●
議案第18号 亀山市心身障害児福祉手当支給条例及び亀山市重度心身障害者介助者手当支給条例の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-	●	○	●
議案第24号 令和8年度亀山市一般会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-	○	●	●
議案第25号 令和8年度亀山市国民健康保険事業特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	●
議案第26号 令和8年度亀山市後期高齢者医療事業特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	●
議案第33号 基本構想の策定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	●
議案第34号 前期基本計画の策定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	●

全会一致で可決及び同意した議案等

議案第5号 亀山市行政手続条例の一部改正について	議案第21号 令和7年度亀山市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)について
議案第6号 亀山市会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	議案第22号 令和7年度亀山市下水道事業会計補正予算(第2号)について
議案第7号 亀山市職員給与条例の一部改正について	議案第23号 令和7年度亀山市病院事業会計補正予算(第2号)について
議案第8号 亀山市職員の旅費に関する条例の一部改正について	議案第27号 令和8年度亀山市水道事業会計予算について
議案第11号 亀山市まちをきれいにする条例の一部改正について	議案第28号 令和8年度亀山市工業用水道事業会計予算について
議案第12号 亀山市産業振興条例の一部改正について	議案第29号 令和8年度亀山市下水道事業会計予算について
議案第13号 亀山市石水溪キャンプ場施設条例の一部改正について	議案第30号 令和8年度亀山市病院事業会計予算について
議案第14号 亀山市市民農園条例の一部改正について	議案第31号 財産の処分について
議案第15号 亀山市営住宅条例の一部改正について	議案第32号 市道路線の認定及び廃止について
議案第16号 亀山市火災予防条例の一部改正について	議案第35号 亀山市副市長の選任同意について
議案第17号 亀山市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	委員会提出議案第1号 学童保育所へ通所する児童らの安全確保及び交通の円滑化のための横断歩道設置に関する意見書の提出について
議案第19号 令和7年度亀山市一般会計補正予算(第8号)について	議員提出議案第1号 米国・イスラエルによるイラン攻撃の即時停止と外交による平和解決を求める決議
議案第20号 令和7年度亀山市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)について	請願第1号 学童保育所へ通所する児童らの安全確保及び交通の円滑化のための横断歩道設置に関する意見書の提出を求める請願

代表質問 一般質問

さて、ここからは、各議員の質問内容について掲載をします。取り上げた内容は議員の質問のごく一部の概要です。詳細については、亀山市議会ホームページでの映像配信や会議録から検索いただけます。

なお、各議員の質問の映像配信は2次元バーコードからもご覧いただくことができます。

それでは、亀山市議会の議場の扉を開いてみましょう。



代表質問

亀山市議会では、施政及び予算編成方針や市長の所信表明・マニフェスト(改選時)に対して会派を代表して質問します。

一般質問

行政全般にわたり、市の考え方や疑問点を聞くことです。単に疑問をはらし、事実関係を明らかにするだけではなく、政策の見直しや提言を行います。

新年度に向けて市長の決意を

公明党

森 美和子

録画動画はこちら▶



代表質問

Q 第3次総合計画の初年度である令和8年度をどのように舵取りされていくのか、市長の決意について伺う。

A 人口減少や国際情勢の変化など大きな時代の転換期にある中、第3次総合計画をスタートダッシュする。市民の皆さんの期待に応え、未来につながっていくよう新年度を「気概の年」と位置づけ、私自身はもとよりオール市役所で取り組んでいく。

Q 新年度予算の特徴について伺う。

A 新年度は、総合計画初年度であり行財政改革の集中期間最終年として歳入歳出のバランスと施策推進の両立を図り編成をした。事務事業の見直し、事業の統廃合や再編により40事業を削減し、制度変更も実施した。人件費等が増加する中でも一般財源を削減し、財政調整基金の回復も見込むなど、持続可能な財政運営に努めていく。

Q 重層的支援体制の出口支援、自立に向けた取組について伺う。

A 支援会議やケアサポート会議を通じて多様な機関が連携し、訪問支援やトータルケアプランにより継続的な支援を実施している。本年度は新規相談52件に対応した。出口支援としては、CSW等が連携し就労体験や参加支援を行い、7名が事業所で体験した。さらにオンライン居場所の運営により、引きこもりの方の社会参加も支援している。

Q 就労体験において休んだり失敗も許容される柔軟な体験の場について伺う。

A 市内には就労体験型放課後等デイサービス事業者は無いが、鈴鹿・亀山圏域では利用可能である。具体的な動きはないが、機会を通じて話をしていくことは可能だと考える。

緊縮財政の中にあっても 活力の生まれる政策展開を

結

鈴木 達夫

録画動画はこちら▶



令和8年度施政及び 予算編成方針について

Q 今議会、市長は令和8年度施政及び予算編成方針の結びのコメントの中で、「亀山の未来は明るい、誰でもそう言える未来への基盤を強化したいと思います」とコメントされた。私の理解では、「昨今の社会経済の不確実で不透明な時勢にあつては、現状では亀山の未来は明るいとは言えない。明るいと言える未来は、これから、今からその基盤を創っていく」とも受け取れる。市長の結びのメッセージ、決意に込められた思いを解説願いたい。

A 昭和100年を経て、国際秩序の流動化、人口減少やDXの加速、市民意識の多様化など、時代のうねり、社会変革の胎動を感じる中で、地方自治体を取り巻く環境は大きな変革の中にあるが、亀山のポテンシャルはさらに高まっていると考える。

亀山に宝となる明るい要素、見えない有形・無形のもの、しっかりと市民に伝わることが明るい希望につながる。

まちの風土、行政の政策、財政の基盤、こういうものをしっかり確立させていかなければならない局面である、との思いを施政方針の結びで述べさせていただいた。

Q 歳入の範囲で歳出の限度を定めて行政経営を行う「分度」の精神は、ある意味「政策のクオリティを下げる」のではないか。

A 自治体の使命として、今だけでなく、未来につながる市民生活を支え、住民サービスの向上の実践が求められている。財政的な制限があったとすれば、職員一人一人の創意工夫や今までにない柔軟な発想を駆使して新たな展開が期待できる。

将来を見据えて見込める歳入の中で、優先順位をしっかりと見極めながら事業を推進する財政運営を分度・推譲の精神で乗り越えていく。

どこに住んでも 取り残さないまちへ

新 和 会

櫻木 善仁

録画動画はこちら▶



令和8年度施政及び予算編成方針について

- 重点施策について
- まちの活力とにぎわいの向上について

Q 令和8年度の特徴として市長が自ら旗を振り先頭に立って推進する重点施策は何か。

A 重点施策として、環境保全対策の強化として野立て太陽光発電の適正な設置管理に向けた条例の制定、まちをきれいにする条例の強化、新ごみ処理施設整備への取組などの環境3点セットに加え、ネイチャーポジティブや森林由来のJ-クレジットの展開を進める。

Q コンパクト・プラス・ネットワークとは何か、居住誘導区域外をどのように考えていくか。

A コンパクト・プラス・ネットワークとは医療や商業など生活サービス機能や居住を一定区域に誘導、集積し、公共交通ネットワークで結ぶことにより、行政サービスの効率化や生活サービス施設の維持確保を図るものであり、JR亀山駅、関駅及び井田川駅といった都市拠点における機能の充実確保を図るとともに、駅周辺の既成市街地への居住の誘導を図ってきたものである。

居住誘導区域外の地域については、人口減少が進む中であっても、地域まちづくりの施策と整合を図りながら、小学校を中心とした世代間のつながりや地域の絆を重視し、地域の特色や風土、文化を生かした定住環境の維持を図る。また、公共交通の拠点である鉄道駅へのつながりの確保に努め、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを推進していきたい。

その他の質問

- 自然との共生と次世代への継承について
- 安全で快適な生活空間の創出について
- 小学校プール民間施設活用事業について

亀山市議会 市民アンケート

亀山市議会は、市民の皆様に関心を持っていただける「見える議会」を目指しています。議会からの情報をより効果的に発信し、議会をより身近に感じていただくために、アンケートを実施します。なお、結果については後日、議会だよりなどを通じて皆さんにお知らせします。ご協力をお願いします。



1 基本情報(任意)

● 年代を教えてください。

- 10代未満 10代 20代 30代 40代 50代
60代 70代 80代以上

● お住まいの地域を教えてください。

- 亀山西小学校区 亀山東小学校区 亀山南小学校区
昼生小学校区 井田川小学校区 川崎小学校区
野登小学校区 白川小学校区 神辺小学校区 関小学校区
加太小学校区 市外 わからない その他()

2 議会への関心

● 議会に関心はありますか。

- とても関心がある ある程度関心がある
あまり関心がない 全く関心がない

● どうしたら議会にもっと関心を持てると思いますか。

3 議会の身近さ、議会への期待

● 議会の情報を、何から入手していますか。(複数回答可)

- ケーブルテレビ インターネット配信 市議会ホームページ
議会報告番組「こんにちは!市議会です」 かめやま市議会だより
議会傍聴 会議録 議員個人や会派の発信 新聞、マスコミ報道
入手したことがない その他()

- 議会の説明や情報発信はわかりやすいと感じますか。
 - わかりやすい
 - どちらかと言えばわかりやすい
 - あまりわかりやすすくない
 - わかりにくい
 - 入手したことがない
- 議会は市民の皆さんの意見を、市政に届けていると思いますか。
 - そう思う
 - どちらかと言えば思う
 - あまり思わない
 - 思わない
- 議会や、議員に期待することは何ですか。(複数回答可)
 - 財政・福祉・教育などの行政チェック
 - 道路・公園・下水道など、生活に密着した環境の改善や相談
 - 議会や議員が何をしているかが分かるような情報発信
 - 政策立案などの議員提案
 - 議会改革
 - その他()

4 市民が議会に意見を届ける方法

- 議会に意見を届けた事がありますか。
 - ある
 - ない
- どのような手段を使って届けましたか。(複数回答可)
 - 議会事務局に電話やメール
 - 議員本人に直接または電話やメール
 - 市議会ホームページの「お問い合わせ」欄
 - その他
- 議会に意見を届けやすい新たな仕組みとして、ご提案があればお書きください。

5 自由意見

- 議会に望むことや、市政に対するご意見・ご提案があれば自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

※回答は、このアンケート調査票を市役所、関支所、あいあい、市立医療センター、市民協働センター、市立図書館、関図書館、地区コミュニティセンター、関文化交流センター、関町北部ふれあい交流センター、鈴鹿馬子国会館、林業総合センターの回収箱に提出してください。

6月30日提出締切です。

回答はWEBでも受付中!

ぜひQRコードで回答してください!▶



市民や来訪者にとって
憩いの場である足湯交流施設、
廃止すべきでない!

勇 政

櫻井 清蔵

録画動画はこちら▶



- 事務事業点検について
- 令和8年度施政及び予算編成方針について

Q 令和6年度事務事業点検で関宿の足湯交流施設を廃止すべきというような指摘を受けたと聞いたが、その認識は。

A 令和6年度事務事業点検で足湯交流施設は、事業の有効性が限定的で抜本的な見直しや改善が必要であり、廃止含め検討されたいという意見を受けた。

Q その後行ったアンケート調査によっては廃止するのか。

A 昨年12月から今年2月23日までアンケートの集計を行い584件の回答を得た。満足度について「満足」「やや満足」との回答が95.8%、施設の必要性について「必要」との回答が96.17%だった。また市外からの来訪者にとって満足度が高い観光施設と感じており、施設の管理活用を図っていきたいと考えている。

Q 当初予算に新庁舎建設基金を積まないのはなぜか。令和18年に新庁舎を建てるために基金を積んでいく気持ちはないのか。市長の見解を問う。

A 新庁舎整備の基本的な取り組み方針や整備スケジュールを見直すものではなく、新庁舎整備に必要な財源を計画的に確保する基本方針に全く変わりはない。新庁舎基金については令和8年度の予算状況を見ながら補正予算での対応を現時点では考えているのでご理解いただきたい。

その他の質問

- 令和7年度で廃止する事業及び令和8年度から内容等が変更となる事業一覧について

人口減少対策として
公共交通の改善を考える

日本共産党

福沢 美由紀

録画動画はこちら▶



Q 本市の人口減少の現状と傾向について伺う。

A 総人口は平成22年の51,023人をピークに緩やかに減少。自然減が続く一方、社会増が顕著であることが人口減少を抑制している。10年後は48,000人と推計し、急激な人口減少にはならない見通しである。

Q 人口減少対策について伺う。

A 本市で安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めることが重要。妊娠、出産、子育てに関する負担の軽減を図るとともに、居住地に選んでいただけるように、日常生活に必要な商業機能の充実に加え、地域公共交通の改善など『暮らしの快適性』を高めていく必要があると考えている。

Q 現在の地域公共交通の課題について伺う。

A 本市は山間部や坂道が多く、自動車依存が強いため、公共交通への移行が進みにくい。コミュニティバスや乗り合いタクシーの利用も低調で、市民満足度は依然低い。また、住民・事業者・行政の連携した取り組みも十分でない。さらに、人手不足や物価高騰により運行委託料が増加し、財政負担の拡大も課題となっている。

Q 公共交通の乗り換えやアクセスが悪いという苦情が多い。交通拠点性の強化について伺う。

A 本市の地域公共交通は、鉄道駅を中心に都市拠点と居住地を結ぶネットワーク形成を方針とする。広域バス2路線、営業路線2路線、更にコミュニティバス7路線のうち5路線はJR亀山駅を結節点としている。結節機能を高める対策として、接続ダイヤや乗り継ぎ環境の改善、接続点周辺への都市機能の集積などを図ることが必要である。

「イクサガミ」に関宿が登場、このチャンスを活かさないか

勇 政

今岡 翔平



録画動画はこちら▶



●観光プロモーションについて

Q Netflixで配信中のドラマ「イクサガミ」に関宿が登場するが市は把握しているのか。

A 「イクサガミ」は292名の志士たちが莫大な賞金をかけて京都天龍寺から東京を目指し、木札を奪いながら東海道を進む明治時代を舞台としたサバイバルゲームを描いた作品である。関宿は登場人物たちが通過しなくてはならない7つの場所の1つだった。2023年に三重県観光部観光誘客推進課を通じて亀山市観光協会にロケ地照会があったものの、結局関宿で撮影は行われなかった。そのため詳細については把握していなかった。

Q タイアップについての考えはあるか。

A 作品についての話題性は十分にあるため、制作者に確認し著作権をはじめとした権利関係に配慮した上で、情報発信するなど検討していきたい。

Q 職員の中にも「イクサガミ」を観て関宿が出てくることを知っている人は一定数いると思う。職員からの情報やアイデアを観光プロモーションにつなげる仕組みは何かあるのか。

A 今後についても、観光協会や亀山ブランド認定事業者との連携を強化するとともに、市役所内の関係部署の職員とも連携しながら情報収集に取り組み、著作権などに配慮しながら可能な限り情報発信に努め、本市の魅力と知名度向上を図りたいと考えている。

その他の質問

- まちづくり協議会と市民について
- 国勢調査について

可能な限り支援を

日本共産党

服部 孝規



録画動画はこちら▶



●シャープ亀山第2工場の8月の生産停止と1,170人の希望退職募集に対する市の取組について

Q 2月10日のシャープ亀山第2工場の8月の生産停止発表以降、現在までに何か変化があったのか。

A 2月24日に社員向けの説明会を開催した旨の報告を受けている。また、本市においては、同じくこれは24日に、三重労働局や県と実務担当者レベルでのミーティングを行い、情報共有を図っている。本市からは、シャープ株式会社に対して再就職を希望する従業員に寄り添った支援を行うとともに、その状況について適宜報告をいただくよう依頼している。

Q 今回生産停止ということをやむなくシャープを離れられる、再就職をしなければならない方が出ると思うが、そういう方を何らかの形で市職員として採用する考えはないのか。

A 現時点で具体的に申し上げることにはできないが、様々な具体的な相談があった場合には可能な支援をさせていただくという考え方を持っている。

Q 8月末に希望退職して、それから亀山市が採用しますと言っても遅い。もしそういう考えがあるのなら早めに取り組むということが必要ではないか。

A 詳細が見えてきた段階でしっかり可能なことはさせていただくというような基本的な方針を現時点では持たせていただいているが、今後の動きについては非常にデリケートな話だと承知をいたしているので、しっかり今後の展開を見極めていく必要があるだろうと考えている。

若者の居場所づくりと安全なまちの未来へ!

結

草川 卓也

録画動画はこちら▶



Q 若者の居場所づくりとしてアーバンスポーツの拠点をかわまちづくりの整備エリアに取り入れ、交流拠点創出を位置づけるべきと考えるがどうか。

A 鈴鹿川周辺は住宅地から一定の距離があり比較的受け入れやすい立地と認識しており、地域活性化に資する可能性の一つとして受け止めている。

Q 駅とまち、川を一体的につなぐ回遊性を生み出すため、JR亀山駅南口整備を見越し、かわまちづくり計画に将来構想として書き込んでおくべきと考えるがどうか。

A 南口整備には様々な課題があるが、鈴鹿川の利活用が進み動線の重要性が高まることで、必要性について中長期的に検討していくことが求められる場面も想定される。

Q 毎日子どもが通る通学路でもある川合28号線は擦れ違い困難な箇所がある。市道川合9号線とセットで、国道1号線までの拡幅も早期に着手すべきと考えるがどうか。

A 川合9号線の通過交通が全て流入するとは想定していない。拡幅については川合9号線の完了後、交通状況を把握しながら検討していく。

Q 鈴鹿亀山道路IC予定地周辺について、今から地域住民等とともに将来のまちづくりの計画づくりをスタートさせるべきと考えるがどうか。

A IC周辺は農用地区域の現状から、供用開始に向けた土地利用について十分な検討、調整を行い、市としての方針を明確にしていく。工業系や商業系など様々な利用が考えられ、市のみならず広域的な観点、地域住民の意向なども含めた検討が必要である。

その他の質問

- 深谷新道の必要性について
- デジタル地域通貨の必要性について

地域住民のニーズに合った地域コミュニティバスを

新 和 会

深水 隆司

録画動画はこちら▶



● 地域公共交通の充実について

Q 学生が朝はバスで登校できても部活動を終えた夕方は家族の迎えがなければ帰宅できないという現状のダイヤについての認識を伺う。

A 学生に合わせたダイヤ設定とすることは、バス車両1台での運行の限界や運行経費等から困難であり、鉄道や他のバス路線への乗り継ぎ時間が合わなくなるなど利便性が損なわれることも想定されるので、どのような移動を優先していくのか、利用者や沿線地域の方々との協議を通じて改善方策を検討していく。

Q 南部ルート利用率が低い要因の一つである医療センターに直接行けるよう、路線の見直しを行うべきではないか。

A ルート設定を変更することは運行時間が延長されることとなり、全体の便数やダイヤ設定、鉄道、他のバス路線との乗り継ぎ時間に影響が生じ、サービス低下につながる可能性も考えられるので、そうした観点も含め、より効率的かつ効果的な輸送サービスの方向性について検討していく。

Q 地域公共交通計画の再編において、地域特性が異なる南部地域の合意形成をどのように図っていくのか伺う。

A 亀山南部地区は、東部地区、昼生地区、天神・和賀地区、南部地区の4つのまちづくり協議会からなる広範な地域で、4つのまちづくり協議会の合同による調整の場を設けるなど継続した協議も実施しながら、それぞれの地域課題を可能な範囲で解決できるよう必要に応じ地区別の合意形成の場の設定も検討していく。

その他の質問

- 地域まちづくり活動の推進について
- 地域福祉に関わる多様な主体の連携強化について

東海道 57次とは

勇 政

伊藤 彦太郎

録画動画はこちら▶



東海道について

●東海道53次を57次とする考えについて

Q 当初予算の説明で「東海道57次としての広域連携」とあったが、従来の53次ではなく57次としたことについての市の見解は。

A 京都までの53次が宿駅制度として整備された一方で、大阪夏の陣の後に京都山科から伏見、淀、枚方、守口を加えた57次が併存していたのも事実であり、57次を広く伝える活動をされているJR東海の元常務の志田威さんと交流を続けている。新たな視点、新たな価値を組み入れることで情報発信に厚みを持たす戦略的なプロモーションも兼ねて東海道57次の広域連携を通じ、本市の魅力を少しパワーアップして発信をし、新たな角度からの誘客、地域振興につながるよう盛り上げていきたいということで57次を使っている。

Q 市のパンフレットや看板で53となっているがどうしていくのか。

A 現在、既存のパンフレットや説明板などはほとんどの表記が東海道53次となっている。東海道には53次、57次が併存していたことから、57次については東海道の新たな発想の転換であり、新たな視点と捉えており、東海道宿駅の中で唯一重要伝統的建造物群保存地区である関宿、城下町亀山、東海道の難所鈴鹿峠を控えた坂下宿などの3つの個性ある宿駅の情報発信をはじめ、本市の魅力発信を東海道57次の広域連携を通じて広域的な観光PRを行い、誘客を図る絶好の機会とも捉えている。シティプロモーション的な戦略も含め、表記については関係部署と連携し、検討していきたい。

その他の質問

- かめやま文化年事業について 等

公平な水道料金を!

結

古田 吉昭

録画動画はこちら▶



共同住宅の水道料金について

- 現在の状況について
- 今後の対策について

Q 共同住宅、アパートやマンションの水道使用水量の測定方法と設置状況について確認する。

A 共同住宅における使用水量の測定方法については、集合メーターで建物全体の使用水量を一括して測定する方法と、各戸ごとにメーターを設置し個別に使用水量を測定する方法の2通りがある。設置状況については令和8年2月末現在で集合メーター方式は97棟、各戸メーター方式は393棟となっている。

Q 他市においては共同住宅の集合メーターにおける水道料金の特例措置や、共同住宅計算等がある。特別な計算方式を採用しているところがほとんどであるが、亀山市にはこれがない。なぜ特例措置的な形を採用しないのか理由について問う。

A この制度を採用しない理由は、本市の水道料金が県内において比較的安価な水準であることと、各戸の使用水量を個別に把握していない状況の中で、建物全体の使用水量を戸数で等分すると各戸の負担額が一律となり、公平性の観点から現時点では特例措置を適用していない状況である。

Q 集合メーター方式の共同住宅の中に料金が高くなっている人もいるのが事実である。今後亀山市において戸数計算方式や特例措置などを実施する予定はないのかについて問う。

A 今後は、集合メーターを設置している共同住宅の実態を把握して共同住宅における水道料金特例措置の制度導入について検討していきたい。

その他の質問

- 企業誘致について
- 道路管理について
- 次期ごみ処理施設について

老朽化が進む小中学校の 立て替えの可能性は？

結

森 英之

録画動画はこちら▶



●学校施設等長寿命化計画について

Q 特別教室の全教室への空調設備の設置を先行して進めて、令和10年度以降から亀山中学校、亀山東小学校、中部中学校の順で、1校3年から4年程度かけて着手していくということ間違いはないか。

A まずは喫緊の課題である特別教室への空調設備整備を進めて、その完了を待つ形で令和10年度から総合計画の実施計画に基づき、亀山中学校を皮切りとした長寿命化改修に着手する予定で、建物の構造的な劣化状況を精査したい。その調査の結果、長寿命化改修による機能回復が困難と判断される場合や改修に要するコストが建て替えと比較をして著しく非効率であると認められる場合には、建て替え等へ柔軟に変更する可能性も含め検討を行う考えである。

Q 小・中学校の建て替えに対する考え方はどうか。

A 必要な長寿命化改修を進めるものとしており、大規模施設整備事業の基本的な考え方も踏まえ、亀山中学校、亀山東小学校、中部中学校の順番に改修を進めたい。

Q 再編の中で、小・中学校の一貫型設置についてはどう考えているのか、教育長にお伺いしたい。

A 学校は地域の核として地域住民に大切にしていたであり、地域の方々が寄り添える心の拠点でもあると認識しておりますので、学校の統廃合やそれを含めた小中一貫型の学校の設置については考えていない。

その他の質問

- 上水道事業の経営状況と水道使用料金について
- 自然エネルギーによる循環型トイレの設置について

積極的な外部人材の活用で 業務改善を!

豊田 恵理

録画動画はこちら▶



●外部人材の活用について ●地域公共交通リ・デザインについて

Q 今まで外部人材の活用が見えなかったのには課題があったのか。

A これまでも数社と協議を行ってきたが、双方合意に至らなかった経緯があり、マッチングは容易ではないと考えている。令和7年10月からは、受入れを希望する自治体と制度活用を希望する企業や個人双方からのアプローチが可能となる地域活性化企業人マッチングプラットフォームの運用が開始されたことから、今後はこの活用を検討してまいりたい。

Q この制度を活用することで市は何を期待するか。

A 新たに政策推進課DX戦略室に派遣される方には、これまで培ってきた経験やノウハウを生かしながら、都市ブランディング事業の推進、デジタル専門人材により各職場におけるデジタル技術の浸透や利活用による業務改善、さらには本市職員との交流を通じて職場の活性化につながることも期待している。

Q 学生版の地域公共交通に関する対話の場は作れないか。

A 学生や若者層の意向把握の重要性は認識しているが、そうした年齢層が気軽に集まる場づくりの難しさや工夫の必要性も感じているので、様々な手法を検討しながら意見交換の場の設定に向けた取組を進めてまいりたい。

Q 地域公共交通の維持には高齢者だけでなく学生や通勤世代、観光客など乗る人の母数の拡大が大事ではないか。

A 課題はたくさんあるが、今までの積み上げをベースにリ・デザインしていくのがまさに今であり、全市的な視点でよりメリハリのある地域公共交通ネットワークのリ・デザインを第3次総合計画の期間中に次の段階へ進めてまいりたい。

財政調整基金を安定させ 持続可能な財政運営を

中島 雅代

録画動画はこちら▶



補助事業の適正な執行を

高島 真

録画動画はこちら▶



●中期財政見通しから見る今後の予算編成について

Q 中期財政見通しとは何か。

A 財政運営の基礎資料として総合計画の策定に合わせ、財政的視点から計画を補完し実効性を高めるとともに、将来の課題、問題点を捉えた健全な財政運営の資料とするため、社会状況の変化に合わせ改定しているもの。今回は、昨今の社会経済情勢の変動や物価高騰などに鑑み、長期的な見通しが大変困難な状況のため、中期的な視点での事業の実施に係る負担や将来のリスクを把握することとした。

Q 財政調整基金を取り崩して事業を行うという前提の予算組みから脱却をしていかなければいけないと考えるが、見解は。

A 財政調整基金を繰り入れることや行政サービスの提供や事業推進を図る財源として、一時的に減少すること自体は問題ないものと認識をしている。行政サービスの維持、向上を図りながら社会経済情勢の変動や不測の事態に備えることが重要であることから、今後も収支バランスに配慮しつつ、安定した財政運営を行っていく。

Q 大規模修繕に向けた長期的な財政計画が必要ではないか。

A 令和12年度以降の財政見通しについては、現時点において事業計画が未確定であるため、それらを想定した財政見通し、財政計画は策定していない。大規模施設整備事業の基本的な考え方については、事業に係る考え方を整理するため長期的な財政シミュレーションを行った。令和12年度以降となる後期基本計画の際には、その財政見通しを示す必要がある。

Q 観光協会運営支援事業の補助金の交付基準と実績について。

A 関宿祇園夏まつりや関宿納涼花火大会の開催費及び、その他事業実施に係る経費を補助対象経費と定めている。その他事業の内訳は、観光ガイドブック、ポスター、パンフレットなどの作成、フィルムコミッションやイベント開催に係る経費が対象。補助金額は補助対象となる事業に要した費用額を限度とし、関宿祇園夏まつり開催費は、各事業で補助対象となる費用の5分の4以内の額を限度としている。

Q 関宿納涼花火大会で、花火の発注に市はどのように関与したのか。適正な契約手続を取っているのか。

A 以前は市内業者に委託していたが、10年ほど前にコンペを実施して県外業者に決定し、その2年後に再度業者選定コンペを実施した。コンペで選定した業者は花火の品質も非常に良く流行も取り入れるなど、要望にも柔軟に対応することから、その後は入札などを実施せず、実績や他業者の金額との比較を毎年行いながら、今年度まで同一業者を選定している。関宿納涼花火大会は市の補助事業であるから、自主性を尊重しながら競争性や公平性の確保に留意するよう申し入れた。

その他の質問

- 令和8年度以降の取組について
 - ▶ 「かめぐりにぎわいづくり推進事業」の概要と、これまでの取組との比較について
 - ▶ 予算と組織体制についてなど
- 通学路について
- 道路行政について

もっと身近に、もっとわかりやすく

亀山市議会を知ってください!



「議会」と聞くと、少しかたい、遠い存在に感じるかもしれません。実は、市議会は、私たちの暮らしに関わる大切なことを話し合い、決めている身近な場です。

議会って、どんなことをしているの？



亀山市では、市民の皆さんが選んだ市長と市議会議員が、それぞれ市の代表として市政を担っています。市議会は、予算や条例などの大切な案件を審議し、議決するほか、市の仕事が適切に行われているかをチェックし、必要に応じて意見や提案を行います。

市議会は、市民の皆さんの思いや地域の課題を、市政へつなげていく大切な役割を担っています。定例会だけでなく、委員会での審査や調査、議員同士の協議などを通じて、より良いまちづくりにつながるよう取り組んでいます。



亀山市議会は、より開かれた議会を目指しています



スマホでも見られます!



亀山市議会では、議会だよりの発行をはじめ、ホームページでの情報発信、会議録の公開、映像配信など、議会の活動をできるだけ分かりやすくお伝えできるよう努めています。

また、議会改革の取組を進めるとともに、子ども議会などの取組を通じて、幅広い世代に議会を身近に感じてもらえるよう工夫しています。「議会を知っていただくこと」「議会に関心を持っていただくこと」も、議会の大切な仕事の一つです。

今回実施するアンケートは、議会だよりをはじめとする広聴広報の取組を、もっと分かりやすく、もっと親しみやすいものにしていくためのものです。市民の皆さんが「知りたい」と思うことや、「こうした方が分かりやすい」と感じることを、今後の紙面づくりや議会活動に生かしていきます。



これからも亀山市議会は、市民の皆さんの声を大切にしながら、わかりやすく、参加しやすい議会を目指していきます。



市議会ってなあに？

～議員と一緒に「かめやま」のことを考えてみませんか？～

これまで亀山市議会では、子どもの意見表明の機会を確保するため、市内中学校3年生を対象に中学生議会を実施してきました。令和8年度は、中学3年生に限らず、たくさんの児童・生徒のみなさんに議会を身近に感じてもらえるよう、次のとおり出前授業をスタートします。



テーマ

「市議会ってなあに？」

議会とは何か、亀山市や私たちの暮らしにどのように関わっているのかを学びます。

内容

1 出前授業

亀山市の仕事や、市議会の仕事についてお話しします。

2 議場見学

議場を見学し、議会がどのように行われているのかを学びます。

3 ワークショップ

楽しい対話や共同作業を通して亀山市について考えます。

対象

小・中学生、高校生、子ども会や放課後児童クラブなど、子どもが活動する団体・グループ

実施日時等

原則として午前9時から午後5時まで(定例会の会期中や委員会等の開催日を除きます。)

※実施期日は令和9年3月31日まで、おおむね1カ月前までに申請をお願いします。

申込方法

webフォーム

以下のリンクまたは二次元コードからアクセスし、必要事項を記入してください。

<https://logoform.jp/f/TPDWs>



メール・郵送

申込書に必要事項を記入し、下記アドレスへメールを送付いただくか、議会事務局まで郵送してください。

議会事務局

メール

gijichousa@city.kameyama.mie.jp
(送信後にご連絡ください)

送付先

〒519-0195 亀山市本丸町577番地
亀山市議会事務局

ご不明な点がありましたら議会事務局
(0595-84-5059)までお問合せください。

とぴくす

令和7年度 議会個人情報保護条例に基づく保有個人情報の開示等

亀山市議会の個人情報の保護に関する条例施行規程に基づき、議会が保有する個人情報の開示・訂正などの状況を次のとおり公表します。

- 1 保有個人情報の開示請求件数 0件
- 2 保有個人情報の訂正請求件数 0件
- 3 保有個人情報の利用停止請求件数 0件
- 4 保有個人情報の開示決定等、訂正決定等及び利用停止決定等に関する決定の状況

(1) 開示決定等 0件	(2) 訂正決定等 0件
(3) 利用停止決定等 0件	
- 5 審査請求件数 0件

表紙写真から



園庭にある赤いお家の中でのひととき (かめ愛こどもの家)

小さな体で寄り添うように並ぶ姿や、葉っぱを大事そうに見せてくれる様子は、1・2歳児ならではの愛らしさと、日々のびのびと過ごしている様子が伝わってきます。

園庭のあたたかな雰囲気の中で、安心して過ごす子どもたちの姿を感じていただける一枚となりました。

問い合わせ先

三重県亀山市議会事務局

〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地

☎(0595)84-5059

Eメールアドレス gijichousa@city.kameyama.mie.jp

市議会の詳しい情報は亀山市議会のホームページをご覧ください

亀山市議会

検索

<https://www.city.kameyama.mie.jp/gikai/>

